

魚田 まさや

(さかなだ・まさや)

作品

愛撫

(あいぶ)

あらすじ

少年の凶行によって父と子供一人を奪われた一家。事件から21年。母・陽子は女手一つで残された2人の子供を育て、長男は医師となり、事件当時赤ん坊だった長女も卒業を間近に控える大学生に。

陽子はある日、「犯人の元少年と会う」ことを子供達の前で宣言する。一家は陽子の行動をきっかけに、それぞれの人生に深く結びついた事件の傷に直面していくことになる。

登場人物構成

女性役	3名
男性役	3名

上演予定

なし

一言

ある人にとって世界が決定的に崩壊するような出来事を経てもなお、人生は続いてしまうということの悲しみ、それでも生の足跡からは苦しみや後悔だけでなく、温かいものも生まれていくに違いないということをテーマに書いてきました。

コンタクト

Email masaya66bal@gmail.com